docomo

L-01F

G2

クイックスタートガイド　’13.9

詳しい操作説明は、L-01Fに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

L-01Fをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■ **「クイックスタートガイド」(本体付属品)**
基本的な機能の操作について説明しています。

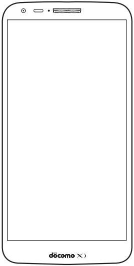
■ **「取扱説明書」(本端末のアプリ)**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」

※「取扱説明書」はLG SmartWorldから再ダウンロードできます。ダウンロードには、ログインが必要です。
ホーム画面で「アプリ」▶「SmartWorld」▶「取扱説明書」を検索 ▶「取扱説明書」アプリを選択 ▶「ダウンロード」

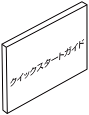
■ **「取扱説明書」(PDFファイル)**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

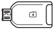
L-01F本体
（保証書付き）



クイックスタートガイド（本書）



microSDリーダライタ（試供品）



UIMオープナー（試供品）



本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-01F」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている をタップする • ホーム画面のアイコンは、以下のように表記しております。 ：「アプリ」 ：「電話」 ：「spモードメール」 ：「インターネット」 ：「マイマガジン」
ホーム画面で ▶「本体設定」	画面の下にある を タップして、表示されたオプションメニューの「本体設定」をタップする
「操作開始」▶「通話」	画面に表示されている「操作開始」をタップして、続けて「通話」をタップする

表記	操作内容
🎤 をロングタッチ	画面に表示されている 🎤 を長めに（1～2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホーム選択が「docomo LIVE UX」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 大切なデータは、microSDカードに保存することをおすすめします。本端末では、microSDカードを挿入して使用できないため、microSDリーダライタを利用して、microSDカードに保存してください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（撮影音、動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ステータス」をタップしてください。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア情報」をタップしてください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P133）をご参照ください。
- 本端末の品質改善を行うため、Androidバージョンアップによってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 他人に使用されないように、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。

- 万が一紛失した場合は、ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- Googleアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- spモード、mopera U、およびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは本端末の取扱説明書をご参照ください。また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- 端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強く推奨します。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険
この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告
この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意
この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は下記の７項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止
高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示
本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリやワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止 **ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。**
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **本端末内のドコモminiUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。**
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示 **航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示
万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、強化ガラスを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示
内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止
アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止
本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末はドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合､自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について
  →P25「材質一覧」

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。**
視力低下の原因となります。

指示 **内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止 **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電の原因となります。

禁止 **コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
- ACアダプタ：AC100V
- DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
- 海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示　けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

指示　電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。**
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**

材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	強化ガラス	－
	フロントケース	PC＋Mg	蒸着＋UVコーティング
	リアケース	PC樹脂	UVコーティング
電源キー		PC樹脂	蒸着
音量キー		PC樹脂	UVコーティング
イヤホンマイク端子		PBS 0.2t C5210R	金メッキ
赤外線ポート部		強化ガラス	－

使用箇所		材質	表面処理
ワンセグアンテナ	先端部	PC樹脂	UVコーティング
	パイプ部	ステンレス鋼	－
	ヒンジ部	ステンレス鋼	－
	供給部	リン青銅	ニッケル
microUSB 接続端子		コルソン合金	金メッキ
カメラ部		サファイアガラス	背面UVラミネート
フラッシュ部		PC樹脂	－
レシーバーグリル		AL	陽極（酸化）処理

使用箇所		材質	表面処理
ドコモminiUIMカード取り付け部	カバー部	PC樹脂	UVコーティング
	ガイド部	Mg	–
IMEI	シール	紙	–

試供品（microSDリーダライタ、UIMオープナー）の取り扱いについて

⚠危険

■ microSDリーダライタ、UIMオープナー

禁止 **高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止 **電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ microSDリーダライタ

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

microSDリーダライタ端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSDリーダライタ、UIMオープナー

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ microSDリーダライタ

禁止

microSDリーダライタ端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
本端末につないだ状態でmicroSDリーダライタのmicroSDリーダライタ端子をショートさせないでください。また、microSDリーダライタ端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
microSDリーダライタの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
本端末のmicroUSB接続端子にmicroSDリーダライタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
対応するmicroSDカード以外のものをmicroSDリーダライタに挿入しないでください
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でmicroSDリーダライタに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
使用中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **microSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子から抜く。**

火災、やけど、感電の原因となります。

指示
microSDリーダライタ端子についたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **microSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込むときは、確実に差し込んでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **長時間使用しない場合は、microSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子から抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにmicroSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子から抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **お手入れの際は、microSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子から抜いて行ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

■ UIMオープナー

禁止 **UIMオープナーの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。**
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDリーダライタ、UIMオープナー

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はドコモminiUIMカードトレイを本端末に差し込んだ状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDリーダライタやmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
▬ ▬ ▬

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM方式であることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

▬ ▬ ▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

■ **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

5.2GHz帯および5.3GHz帯（W52、W53）の屋外使用は法令により禁止されています。

日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

W52
（5.2GHz帯／36、40、44、48ch）
W53
（5.3GHz帯／52、56、60、64ch）
W56
（5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

FeliCaリーダー／ライターについて

- ■ 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- ■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

試供品（microSDリーダライタ／UIMオープナー）についてのお願い

microSDリーダライタ

- ■ 水をかけないでください。
  microSDリーダライタは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- ■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- **microSDリーダライタの端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **直射日光の当たるところや、高温多湿のところには保管しないでください。**
- **microSDカードの使用中は、microSDリーダライタやmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **金属端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **金属端子部はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **microSDリーダライタの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **microSDリーダライタを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
- **microSDリーダライタ端子を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  故障の原因となります。

UIMオープナー

■ **UIMオープナーに無理な力がかからないように使用してください。**
故障、破損の原因となります。

■ **廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。**

■ **UIMオープナーは他の携帯端末には使用しないでください。**
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク ㊊ 」が本端末の電子銘板に表示されております。
電子銘板は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「規制と安全に関する情報」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

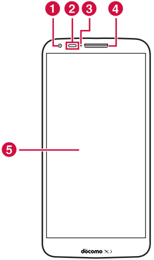
海外でご利用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

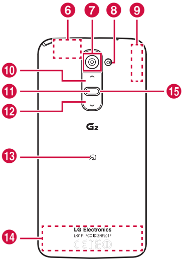
ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



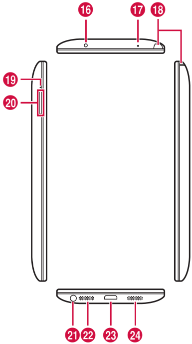
❶ フロントカメラ
❷ 近接センサー※1／照度センサー※2（一体型）
❸ 通知LEDライト（フロントサイドLED）
❹ 受話口（レシーバー）
❺ ディスプレイ（タッチスクリーン）

※1 タッチスクリーンのONとOFFを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作しないようにします。
※2 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調整します。



❻ Bluetooth ／ Wi-Fiアンテナ部※3
❼ メインカメラ
❽ フラッシュ
❾ GPS ／サブアンテナ部※3
❿ 音量キー（上）
⓫ 電源キー
⓬ 音量キー（下）
⓭ マーク
⓮ FOMA ／ Xiアンテナ部※3
⓯ 通知LEDライト（バックサイドLED）

※3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。



⑯ **赤外線ポート（IrRC）**

- Qリモート（P62）を利用する場合に使用します。赤外線通信によるデータの送受信は行えません。

⑰ **サブマイク**

- スピーカーホンを利用する場合に使用します。

⑱ **ワンセグアンテナ**

⑲ **ドコモminiUIMカードトレイイジェクトホール**

⑳ **ドコモminiUIMカードトレイ**

㉑ **イヤホンマイク端子**

㉒ **送話口（マイク）**

㉓ **microUSB接続端子**

- 市販のSlimPort対応のケーブルが使用できます。

㉔ **スピーカー**

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと電話、パケット通信などの機能を利用することができません。ドコモminiUIMカードを挿入または取り出す前には、必ず本端末の電源を切り、充電している場合はACアダプタから取り外してください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

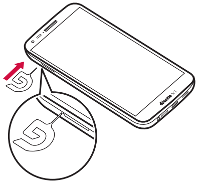
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、付属のUIMオープナー（試供品）が必要です。

お知らせ

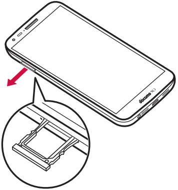
- お買い上げ時にはドコモminiUIMカードトレイに赤色の仮のカードが挿入されています。仮のカードを抜いてから、ドコモminiUIMカードを取り付けてください。仮のカードが挿入されていると、電源を入れたり、充電することができません。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

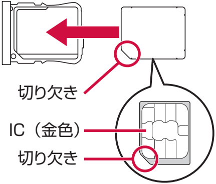
1 UIMオープナーの先端をドコモminiUIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む



2 ドコモminiUIMカードトレイをまっすぐ取り出す

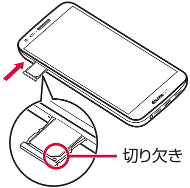


3 ドコモminiUIMカードの金色のIC面を下に向けてドコモminiUIMカードトレイにはめこむ



4 ドコモminiUIMカードトレイを本端末に差し込む

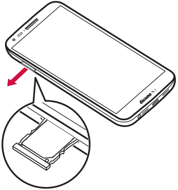
- ドコモminiUIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモminiUIMカードトレイが破損する恐れがあります。



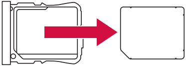
ドコモminiUIMカードを取り外す

1 UIMオープナーの先端をドコモminiUIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む(P48)

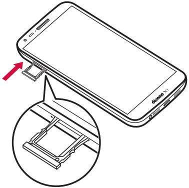
2 ドコモminiUIMカードトレイをまっすぐ取り出す



3 ドコモminiUIMカードをドコモminiUIMカードトレイから取り外す



4 ドコモminiUIMカードトレイを本端末に差し込む

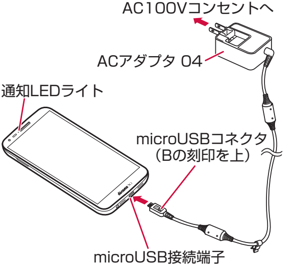


充電

- お買い上げ時にはドコモminiUIMカードトレイに赤色の仮のカードが挿入されています。仮のカードを抜いてから、充電してください。仮のカードが挿入されていると、充電することができません。

ACアダプタで充電する

ACアダプタ 04（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 ACアダプタのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、Bの刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電が開始されます。充電中は通知LEDライトが赤色に点灯します。点灯中に明暗が繰り返されます。
- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、アニメーション表示されます。
- 充電が完了すると通知LEDライトが緑色に点灯し、充電完了音が鳴り、 が表示されます。

3 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから引き抜く

4 ACアダプタのmicroUSBコネクタを本端末から引き抜く

パソコンで充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電できます。

1 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。
- 本端末に「プログラムのインストール」画面が表示された場合は「キャンセル」をタップします。
- 「USB接続方法の選択」画面が表示された場合は「充電」をタップします。

3 充電が終わったら、microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートから引き抜く

4 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末から引き抜く

お知らせ

- パソコンの状態により、充電に時間がかかる場合や充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを２秒以上押し続ける
   - しばらくすると、ロック画面が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時にはドコモminiUIMカードトレイに赤色の仮のカードが挿入されています。仮のカードを抜いてから、電源を入れてください。仮のカードが挿入されていると、電源を入れることができません。

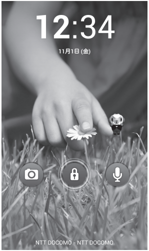
電源を切る

1 電源キーを２秒以上押し続ける
2 「電源を切る」
3 「OK」

画面ロックを解除する

1 をタップする

- 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行います。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

お知らせ

- バックライト消灯中は、電源キーを押してバックライトを点灯してください。
- バックライト消灯中は、電源キーを押す際に近接センサーを遮るとバックライトが自動的に消灯する仕様になっています。
- 画面ロックを「タッチ」／「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます。

基本操作

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

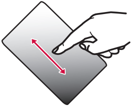
タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

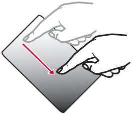
- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- ロングタッチ：画面に1秒以上触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面に触れたままなぞって指を離す
- フリック：画面に触れて指をすばやく払う
- ピンチアウト：2本の指で画面に触れ、触れたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面に触れ、触れたままつまむように指を近づける

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。



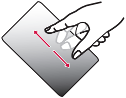
- ドラッグすると画面がスクロールします。



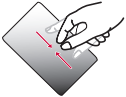
- スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中に画面に触れると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

使用するアプリによっては表示を拡大することができます。また、拡大した状態から縮小することもできます。



- ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。



- ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

フロントタッチボタン

	**戻るキー** タップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	**ホームキー** ・タップすると、ホーム画面が表示されます。 ・ロングタッチすると、最近利用したアプリのリストが表示されます。サムネイルをタップすると、アプリを開くことができます。リストから削除するにはサムネイルを左右にドラッグまたはスワイプします。リストからすべて削除するには「すべて消去」をタップします。
	**メニューキー** タップすると、現在の画面またはアプリで実行できるオプションメニューが表示されます。

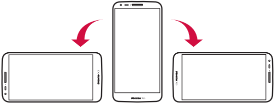
画面の表示方向を自動的に切り替える

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定できます。

- 表示方向が切り替わらないアプリもあります。
- 本端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横画面表示／縦画面表示は切り替わりません。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「表示」

2「縦横表示の自動回転」にチェックマークを付ける



スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 電源キーと音量キー（下）を同時に1秒以上押し続ける

- 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Screenshots」で見ることができます。

Qメモ機能を利用する

メモやノートブックアプリを起動せずに簡単にメモができます。キャプチャした画面に直接文字やイラストを書き込むこともできます。

1 通知パネルを開く（P90）

2「Qメモ」

3 メモを作成する

- 画面に以下の情報が表示されます。

：画面にメモを残したまま、他の機能が使用できます。 をタップするとＱメモの編集を再開します。

：背景を変更します。

／ ：元に戻す／やり直します。

：ペンの種類やカラーを選択できます。

：消しゴムを利用できます。消しゴムを利用している状態でタップして「すべて消去」をタップすると、作成したメモがすべて削除されます。

：作成したメモを共有／印刷／送信できます。

：作成したメモを保存します。

：ツールバーを表示／非表示します。

：フロントタッチボタン（ ／ ／ ）をロックします。

4 をタップする ▶ 保存先を選択する

- 作成したメモがノートブックまたはギャラリーに保存されます。

お知らせ

- フロントタッチボタンのアイコン領域から上へスワイプ ▶ へドラッグしてもＱメモを起動できます。

Qスライドアプリ

他の操作をしながら、動画、インターネット、メッセージ、カレンダー、Eメールなどをポップアップで利用できます。

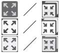
- Qスライドアプリのポップアップウィンドウは同一画面上に2つまで表示できます。

Qスライドアプリを利用する

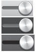
1 **通知パネルを開く（P90）**

2 **Qスライドアプリを選択する**

- Qスライドアプリで以下の操作ができます。

：全画面表示／元のサイズに戻して表示します。

：Qスライドアプリを終了します。

：背景の透明度を調整します。
- 左にドラッグすると、Qスライドアプリの画面をタッチしても反応しなくなるため、他の機能を利用できます。

：表示サイズを調整します。

Qスライドアプリを編集する

1 **通知パネルを開く（P90）**

2 **Qスライドアプリ欄の「編集」をタップする**

- Qスライドアプリの並び替えや、通知パネルに表示する項目のカスタマイズができます。

Q リモート

本端末を家電製品のリモコンとして使用できます。

- Qリモートは一部のデバイスにのみ対応しています。Qリモート機能の機器別対応メーカーは、LG Electronics Japan のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phone/lg-Optimus-G2-L-01F
- 登録したリモコンの基本操作は通知パネルからも利用できます。

リモコンを登録する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Qリモート」

- 通知が表示された場合、使用権にすべて同意したら、「同意」をタップします。

2 グループ名を選択 ▶ ⊕

3 デバイスのカテゴリを選択する

4 デバイスのメーカーを選択する

- Qリモートはここに表示されているメーカーのデバイスにのみ対応しています。

5 デバイスに向けて「パワー」ボタンをタップする

- ボタンが動作するとQリモートをお使いのデバイスで利用できます。

6 「はい」

7 以降は画面の指示に従って操作する

Ｑリモートの設定を行う

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Ｑリモート」▶ [メニューアイコン]

マジックリモート設定※1	タッチパッドおよびSmart Text（キーボード）を使用してTVを操作します。 • マジックリモートは、2012年以降に発売されたLG Smart TVのみ対応です。
リモコン名の編集※2	リモコン名を編集します。
学習リモコン※3	本端末の赤外線ポートを利用して、デバイスのリモコンから受信した赤外線でボタンの設定を学習します。
リモコンの編集※4	リモコンのボタンの配置を編集します。
リモコンの移動※2	登録しているリモコンを他のグループに移動します。
リモコンを削除する※2	登録しているリモコンを削除します。
グループ名の編集	グループ名やアイコンを変更します。

Qリモートの自動表示設定※5	設定したホームWi-Fiの圏内にいるときに、Qリモートをロック画面や通知パネルに自動的に表示するかを設定します。 • ホームWi-Fiが設定されている場合に動作します。
タブの編集※6	表示されているタブの順番を入れ替えます。

設定	**Qリモートの自動表示設定**	設定したホームWi-Fiの圏内にいるときに、Qリモートをロック画面や通知パネルに自動的に表示するかを設定します。 • ホームWi-Fiの設定もできます。
	タッチ音	リモコンの操作時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	タッチ時の振動	リモコンの操作時にバイブレートを動作させるかどうかを設定します。
ヘルプ		Qリモートのヘルプを表示します。

※1　LG Electronics Inc.のテレビを登録しているときに表示されます。
※2　リモコンを登録しているときに表示されます。
※3　統合リモコン以外のリモコンを登録しているときに表示されます。
※4　統合リモコンを登録しているときに表示されます。
※5　ホームWi-Fiが設定されている場合に表示されます。
※6　1つのカテゴリに複数のリモコンが設定されている場合に表示されます。

文字入力

本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、10キーキーボードとQWERTYキーボード、手書き入力の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
をタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

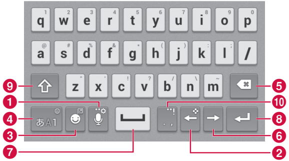
● 10キーキーボード

1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられたキーボードを使用して文字を入力します。



● QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。



❶ **音声入力キー／キーボードタイプキー／手書き入力キー／片手操作モードキー／スプリットキーボードキー／クリップボードキー／設定キー／逆順キー**

- 音声入力モードに切り替わります。
- ロングタッチすると、キーボード機能ボタンパネルが表示されます。
  - をタップすると、音声入力モードに切り替わります。音声入力を使用しない設定の場合には表示されません。
  - （QWERTYキーボード時）／（10キーキーボード時）をタップすると、「10キーキーボード」／「QWERTYキーボード」に切り替えることができます。
  - をタップすると、手書き入力キーボードを表示します。
  - （縦画面時）／（横画面時）をタップすると、「片手操作キーボード」／「スプリットキーボード」に切り替えることができます。をタップすると、標準のキーボードに戻ります。
  - をタップすると、クリップボードを表示します。
  - をタップすると、「LG 日本語キーボード」メニューを表示します。「キーボード設定」で音声入力キーを非表示にできます。非表示にするとが表示されます。

※ 詳しい操作方法は、「キーボード設定」の「ヘルプ」を参照してください。

- 10キーキーボードの場合、文字を入力するとが表示されます。をタップすると、1つ前の文字を表示（逆順）します。

❷ **左カーソルキー／十字キー**

左へカーソルを移動します。変換時は変換範囲を狭めます。ロングタッチすると十字キーモードに切り替わります。

❸ **記号／英数カナキー**

絵文字／記号／顔文字／絵文字Dリストを表示します。「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。ロングタッチすることで、入力拡張プラグイン機能を使うことができます。

- 入力拡張プラグイン機能をご利用になるには、「WnnDictionary」（辞書で検索する機能）／「WnnBrowser」（URLに接続する機能）／「WnnSearch」（Webで検索する機能）のダウンロードが必要です。

❹ **文字種切替**

入力（文字種）を切り替えます。ロングタッチすることで「入力言語」を選択できます。

❺ **削除キー**

カーソル位置の左の文字を削除します。ロングタッチすることで連続して削除できます。

❻ **右カーソルキー**

右へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。

❼ **スペース／変換キー**

スペースを入力します。ひらがな入力中は「変換」と表示され、連文節変換候補リストを表示します。

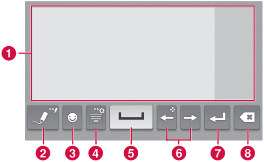
❽ **確定／実行／改行／検索／次へ／完了キー**

入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索・次へ・完了）を実行します。

❾ **シフトキー**
英字入力時、タップすると大文字キーと小文字キーを切り替えることができます。
：小文字
：文頭だけ大文字
：全部大文字

❿ **句読点キー**
句読点を入力します。ロングタッチすると、記号の一覧が表示されます。

● 手書き入力キーボード



❶ **手書き入力領域**
文字を書くと、文字の下に ▲ が表示されます。▲ をタップすると認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。

❷ **メニューキー**
入力モード（文字の種類）と実行モード（手書き入力の方式）を選択できます。ロングタッチすることで、手書き入力の詳細設定ができます。
実行モードを に設定すると、2つの手書き入力領域が表示されます。交互に1文字ずつ入力します。

❸ **記号キー**
絵文字／記号／顔文字／絵文字Dリストを表示します。

❹ **キーボードタイプキー／クリップボードキー／設定キー**
- 手書き入力キーボード表示前のソフトウェアキーボードに切り替わります。
- ロングタッチすることで、クリップボードキー、設定キーを表示します。

❺ **スペースキー**

半角スペースを入力します。

❻ **左カーソル／右カーソルキー**

カーソル位置を移動します。左カーソルキーをロングタッチすると十字キーモードに切り替わります。

❼ **確定／改行キー**

入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（改行）を実行します。

❽ **削除キー**

カーソル位置の左の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。手書き入力領域に文字を書いている間は、領域内の文字をすべて削除したり、1文字削除したり、線を1本削除したりできます。

お知らせ

- キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- キーボードが不要な場合は、⮌ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。
- ソフトウェアキーボードの入力モードや入力方法などを切り替えるには、ソフトウェアキーボードが表示されている状態で 🎤 をロングタッチ ▶ ⚙ をタップ ▶「入力モード切替」／「入力方法」▶ 使用したいキーボードの入力モードまたは入力方法をタップしてください。

文字入力には7つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。

あ	ひらがな漢字	AB	半角英字
カ	全角カタカナ	1	全角数字
ｶﾅ	半角カタカナ	12	半角数字
A	全角英字		

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本端末の電源を初めて入れたときは、本端末で使用する言語などの設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1 「ようこそ」画面で「次へ」

- 「日本語（日本）」をタップすると、言語を変更できます。

2 「フロントタッチボタンを設定する」画面でフロントタッチボタンの組み合わせを選択する ▶「次へ」

3「インターネット接続設定」画面で「モバイルネットワーク」／「Wi-Fi」のチェックマークを付ける／外す ▶「次へ」

- 「Wi-Fi」にチェックマークを付けた場合は、Wi-Fi ネットワークの各項目を設定します。
- 「モバイルネットワーク」と「Wi-Fi」のチェックマークを外した場合は、「警告」画面を確認して「OK」をタップします。

4「Googleアカウントをお持ちですか？」画面で「はい」／「いいえ」▶「Googleと位置情報」画面まで画面に従って設定する ▶ ▶

- Googleアカウントを設定しなかった場合は、「この端末の所有者...」画面で「姓」／「名」を設定する ▶ ▶ をタップします。

5「バッテリーセーブ」画面で「バッテリーセーブ」を使用する場合は「バッテリーセーブを使用する」のチェックマークを付ける ▶「次へ」

6「新しい体験をしましょう」画面で「完了」

- 本端末の名称を変更する場合は、「名称の設定」欄を修正します。

7「ソフトウェア更新」画面で「OK」

8「ドコモサービスの初期設定」画面で「進む」

9「アプリ一括インストール」画面で「今すぐインストール」／「後でインストール」▶「進む」

10「おサイフケータイの利用」画面で「設定する」／「設定しない」▶「進む」

11 「ドコモアプリパスワードの設定」画面で「設定する」▶ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶新しいドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶再度新しいドコモアプリパスワードを入力▶「OK」

12 「位置提供設定」画面で「位置提供ON」／「位置提供OFF」／「電話帳登録外拒否」▶「進む」

13 「設定完了」画面で「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、削除や変更はできません。お客様の必要に応じて、アクセスポイントを追加、編集することができます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する＜新しいAPN＞

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2 ▶「APNの追加」
3 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」
4 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」
5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力
6 ▶「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、再度アクセスポイントを手動で追加してください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ▶「初期設定に戻す」▶「はい」

お知らせ

- アクセスポイントを1つも追加していない場合、「初期設定に戻す」は表示されません。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。
mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2 「mopera U」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fiを設定する

本端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」
2 「Wi-Fi」をONにする
3 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする
    - セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE／3G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。ホーム画面で ▶「本体設定」▶「ドコモのサービス／クラウド」▶「ドコモアプリWi-Fi利用設定」から設定ができます。

docomo Wi-Fi

docomo Wi-Fiはドコモの公衆無線LANサービスです。簡単な設定でdocomo Wi-Fiをご利用いただけます。docomo Wi-Fiはお申込みが必要な有料サービスです。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「docomo Wi-Fiかんたん接続」

お知らせ

- docomo Wi-Fiかんたん接続の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

USBテザリングを設定する

microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1. 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する
2. ホーム画面で ≡ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「テザリング」
3. 「USBテザリング」▶ 注意事項の詳細を確認して「OK」

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 8 ／ Windows 7 ／ Windows Vista ／ Windows XP（Service Pack 3 以降）

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。詳細については、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
- USBテザリングに必要な専用のドライバは、本端末とパソコンを接続する時に表示される「プログラムのインストール」画面からもインストールできます。

Wi-Fiテザリングを設定する

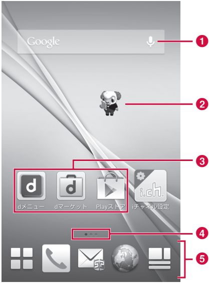
本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」▶ 注意事項の詳細を確認して「OK」

ホーム画面

ホーム画面では、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

❶ **ウィジェット**

❷ **マチキャラ**

❸ **アプリ**

❹ **ホーム画面の現在位置を表示**

❺ **ドック**

- アプリ：アプリ画面を表示します。
- マイマガジン※：マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

※ 本機能は今後提供されるアップデートにより利用可能となります。

ホーム画面の管理

ホーム画面で設定できること

1 ホーム画面で ☰

検索	端末内のアプリやウェブページを検索します。
きせかえ	アイコンの背景やデザインを選択できます。
マチキャラ表示設定	マチキャラの表示／動作設定などを行います。 ・ ホーム画面上のマチキャラをロングタッチしても設定できます。
アプリ配置先設定	インストールしたアプリの配置先を「ホーム画面」と「アプリ一覧」から選択します。

本体設定	「設定」画面を表示します。
ヘルプ	docomo LIVE UX操作ガイドを表示します。
アプリケーション情報	docomo LIVE UXのバージョン情報を表示します。オープンソースライセンスや最新バージョンの確認もできます。

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます。

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

アプリを表示	アプリ一覧を表示します。追加するアプリをロングタッチして画面下部へ動かすと、ホーム画面に配置できます。
ウィジェットを表示	ウィジェット一覧を表示します。追加するウィジェットをロングタッチして画面下部へ動かすと、ホーム画面に配置できます。

フォルダを作成	フォルダを作成できます。
きせかえを変更	アイコンの背景やデザインを選択できます。
壁紙を変更	壁紙一覧を表示します。設定する壁紙をタップするか、ロングタッチしてホーム画面に配置すると、設定できます。
マチキャラ表示設定	マチキャラの表示／動作設定などを行います。 ・ホーム画面上のマチキャラをロングタッチしても設定できます。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧が表示されます。画面の移動や追加／削除を行えます。

アプリなどの移動

1 **ホーム画面で、移動するアプリのアイコンまたはウィジェットをロングタッチする**

2 **そのままドラッグし、移動先で指を離す**

- アプリのアイコンまたはウィジェットが移動します。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

1 ホーム画面で、アプリ画面に戻すアプリのアイコンをロングタッチする

2 そのまま上の「アプリ一覧に戻す」にドラッグして指を離す

- ホーム画面からアプリの表示が消えて、アプリ一覧に表示されます。

ウィジェットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で、削除するウィジェットをロングタッチする

2 そのまま上の「ホーム画面から削除」にドラッグして指を離す

- ホーム画面から削除されます。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアイコンを変えて、イメージを着せ替えます。

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。
- ホーム画面で ☰ ▶「きせかえ」をタップしても設定できます。
- ホーム画面で「アプリ」▶ ☰ ▶「きせかえ」をタップしても設定できます。

2 「きせかえを変更」▶ デザインを選ぶ ▶「設定」

- 「サイトから探す」をタップして、ウェブサイトから好きなデザインのきせかえを探して設定することもできます。

壁紙の変更

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

2 「壁紙を変更」

- 壁紙一覧が表示されます。

3 壁紙をタップ

- 「壁紙を設定」画面が表示されます。
- 壁紙をロングタッチ ▶ ホーム画面にドラッグしても「壁紙を設定」画面が表示されます。
- 「他の壁紙を見る」をタップすると、「壁紙の選択」画面が表示され「ギャラリー」／「マルチフォト」／「ライブ壁紙」／「季節の壁紙」／「壁紙ギャラリー」から壁紙を選択できます。

4 「すべての画面」／「この画面のみ」▶「OK」

お知らせ

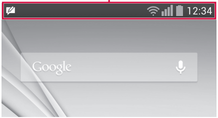
- 「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像を選択し、ドラッグして壁紙に使用したい画像の範囲にトリミング枠を設定して、「トリミング」▶「はい」▶「壁紙を設定」画面で「すべての画面」／「この画面のみ」▶「OK」をタップすると壁紙に設定されます。「壁紙を設定」画面で「位置調整」をタップすると位置を調整できます。
- 「マルチフォト」をタップした場合は、「＋」マークをタップして壁紙として使用する画像を選択し、ドラッグして壁紙に使用したい画像の範囲にトリミング枠を設定して、「OK」▶ 最大7個まで繰り返す ▶「適用」をタップすると、壁紙に設定されます。

・「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「適用」をタップしてください。壁紙をフリックすると、ライブ壁紙の視点を変更することができます。

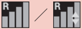
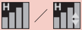
ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー



主なステータスアイコン

	電波レベル
	圏外
（白色）	Bluetooth機能ON
（水色）	Bluetoothデバイスに接続中
	国際ローミング使用可能／通信中
	3G使用可能／通信中
	LTE使用可能／通信中
	FOMAハイスピード使用可能／通信中
	Wi-Fi接続中／通信中
	電池残量
	充電が必要
（点滅）	電池残量なし
	充電中
	機内モード設定中
	ドコモminiUIMカードロック状態、またはドコモminiUIMカード未挿入
	サイレント（バイブレートなし）
	バイブレートのみ

	アラーム設定中
	データ同期中
（青色）	本端末とドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
（青色）	本端末またはドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
（赤色）	本端末とドコモminiUIMカードにおまかせロックを設定中
（赤色）	本端末またはドコモminiUIMカードにおまかせロックを設定中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	新着エリアメールあり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着ハングアウトメッセージあり
	ビデオハングアウト呼び出し中／招待あり／画面チャット中
	着信中、発信中※、通話中※

	不在着信あり
	伝言メモあり
	留守番電話あり
	アラーム通知あり
	カレンダーに設定された予定あり
	音楽アプリで音楽を再生中
	メディアプレイヤーで音楽を再生中
	オープンネットワーク（Wi-Fi）を検出
	USB接続中

	充電完了
	スロー充電中
	本端末のメモリの空き容量低下
	データアップロード完了
	データダウンロード完了
	ログインに問題あり
	利用可能なアップデートあり
	アプリのインストール完了
	ワンセグ視聴中

	docomo LIVE UXからの通知あり
	その他の通知あり
	GPS測位中（点滅）
	VPN接続中
	Wi-Fiテザリング使用可能
	USBテザリング使用可能
	Bluetoothテザリング使用可能
	Wi-Fi Direct接続中
	スマートスクリーン機能で、顔認識時（バックライト点灯を保持）

	LG Electronics Inc.が提供するアプリのアップデートあり
	VuTalkの通知あり
（水色）	バッテリーセーブ機能ON
（灰色）	バッテリーセーブ機能設定中
	ワイヤレスストレージ機能ON
	おまかせロック中

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

お知らせ

- ▯ は、パソコンで充電する場合など、ACアダプタ（別売）を使用せずに充電した場合に表示されます。
- ▯ が表示されているときの充電速度は、ACアダプタ（別売）を使用した場合よりも遅くなります。
- ▯ は、内部ストレージの容量が不足している場合に表示されます。
- ▯ が表示されているときは、アプリをダウンロードしてもインストールができない場合があります。
空き容量を確保してから再度アプリのインストールを行ってください。

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などを通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、ONの状態では青、OFFの状態では白で表示されます。
- 通知パネル上部のアイコンの種類は、「編集」をタップして表示される「クイック設定」画面で変更できます。

通知パネルの見かた



❶ **クイック設定アイコン欄**

左右にドラッグすると、表示されていないアイコンを表示できます。



Qメモが起動します。



Qスライドアプリ欄の表示／非表示を切り替えます。



Qリモートが起動します。



サウンドとバイブレート／バイブレートのみ／サイレントを切り替えます。
ロングタッチすると、「サウンド」画面が表示されます。



バッテリーセーブのON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「バッテリーセーブ」画面が表示されます。



Wi-FiテザリングのON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「テザリング」画面が表示されます。

縦横画面の自動回転のON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「表示」画面が表示されます。

Wi-Fi機能のON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「Wi-Fi」画面が表示されます。

Bluetooth機能のON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「Bluetooth」画面が表示されます。

GPS機能の有効／無効を切り替えます。
ロングタッチすると、「位置情報アクセス」画面が表示されます。

バックライト点灯時間を切り替えます。
ロングタッチすると、「表示」画面が表示されます。

ワイヤレスストレージ機能のON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「ワイヤレスストレージ」画面が表示されます。

通知表示LEDのON ／ OFFを切り替えます。
ロングタッチすると、「通知表示LED」画面が表示されます。

「クイック設定」画面が表示されます。

❷ **Qスライドアプリ欄**

タップしてQスライドアプリ（動画、インターネット、メッセージ、カレンダー、Eメール、ファイルマネージャー、電卓）を起動します。

❸ **画面の明るさ調整欄**

画面の明るさを調整します。

- 「自動」にチェックマークを付けると、画面の明るさを自動で調整します。基本の明るさはスライドバーで設定できます。

❹ **着信時の音量調整欄**

着信時の音量を調整します。

- ⚙ をタップすると、音量設定のウィンドウが開きます。

❺ **日付**

日付を表示します。

❻ **通知情報**

通知情報の詳細を表示します。

❼ **通信事業者名／ UIM事業者名**

左には、現在接続中のネットワークの通信事業者名が表示され、右には、ドコモminiUIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

❽ **スクロールバー**

上方向にドラッグまたはスワイプすると通知パネルを閉じます。

❾ **通知を消去**

通知情報と通知アイコンの表示を消去します。

通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❿ **設定ボタン**

「設定」画面が表示されます。

アプリ画面

1 ホーム画面で「アプリ」

- ホーム画面を下にドラッグまたはスワイプしてもアプリ一覧画面が表示されます。



❶「アプリ」タブ
搭載されているアプリのうち、ホーム画面に貼り付けられていないものがアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリを起動することができます。
❷「ウィジェット」タブ
❸「壁紙」タブ
❹「おすすめ」ボタン
❺ 一覧画面
❻ アプリ／ウィジェット／壁紙
❼ ホーム画面領域

アプリの管理

アプリ画面で設定できること

1 ホーム画面で「アプリ」▶ ☰

- ホーム画面と同じメニューが表示されます。（P80）

アプリのホーム画面への移動

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ホーム画面へ移動したいアプリのアイコンをロングタッチする

3 そのままホーム画面領域までドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面にアプリが移動します。

ロック／セキュリティ

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利で安全にお使いいただくため、本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本端末をご活用ください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、dメニューからは、ホーム画面で「dメニュー」▶「お客様サポート」▶「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、P154をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しく端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを有効にする

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「セキュリティ」

2「UIMカードのロック設定」

3「UIMカードのロック」

4 PINコードを入力して「OK」

- 「UIMカードのロック」にチェックマークが付きます。

PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コードを入力して「OK」

2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

3 手順2で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

電話／メール／ウェブブラウザ

電話

電話をかける

1 **ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ**

- 「ダイヤル」画面が表示されます。

2 **電話番号を入力 ▶ [発信]**

- 電話番号の入力を誤った場合は、[削除] をタップすることで消去できます。

3 **通話が終了したら「終了」**

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。

お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。
PINコードについて詳しくは「本端末で利用する暗証番号」（P95）をご参照ください。
- 「登録外着信拒否」がONの状態で緊急通報を行うと、「登録外着信拒否」の設定はOFFになります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- ⋮ ▶「応答保留」をタップすると、応答を保留できます。
- 着信中に電源キーまたは音量キー（上）／音量キー（下）を押すと、着信音、バイブレートの動作を止めることができます。
- ● をタップすると伝言メモが応答します。伝言メモを設定している場合は、● をタップしなくても、設定した応答時間の後に伝言メモが応答します。

2「操作開始」▶「通話」

- 着信拒否：「操作開始」▶「拒否」
- 応答拒否：「操作開始」▶「拒否してSMS送信」▶ 送信したいメッセージをタップ

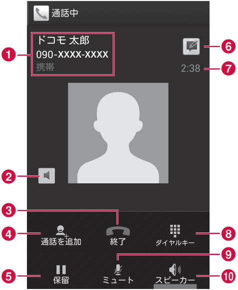
3 通話が終了したら「終了」

お知らせ

- 拒否メッセージの文章は、ホーム画面で「電話」▶ ☰ ▶「通話設定」▶「応答拒否SMS」で変更できます。

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのON ／ OFF、保留などの操作ができます。



1. **名前や電話番号、ラベル名**
2. **スピーカーアイコン**
   通話音量を調整します。
   - ハンズフリー通話のときに表示されます。
3. **終了**
   通話を終了します。
4. **通話を追加**※1
   別の相手に電話をかけます。
5. **保留**※2
   通話を一時保留にします。
6. **VuTalk**
   VuTalkを開始します。
   VuTalkをご利用になるには、「連絡先」アプリのダウンロードが必要です。ダウンロードの詳細については、「アプリの更新」（P136）をご参照ください。
7. **通話時間**

❽ **ダイヤルキー**※2
ダイヤルパッドを表示してプッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。

❾ **ミュート**※2
自分の声が相手に聞こえないようにします。

❿ **スピーカー**※2
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※1　キャッチホンのご契約が必要です。
※2　もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

通話音量を調整する

通話中に相手の声の音量を調整できます。

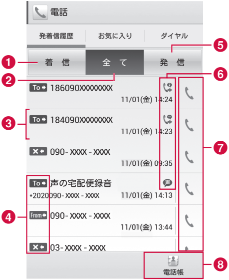
1　通話中に音量キー（上）／音量キー（下）を押す

- 操作に応じて、通話音量が変わります。

発着信履歴

電話の発着信履歴（最大50件）を確認できます。

1　ホーム画面で「電話」▶「発着信履歴」タブ



❶「着信」タブ
着信履歴のみ表示します。

❷「全て」タブ
着信／発信のすべての履歴を表示します。

❸ 名前や電話番号
タップして発信画面を表示します。

- 発信画面の項目をタップして、電話発信、SMS送信、声の宅配便の録音、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。
- ロングタッチすると、発信前に番号を編集、通話履歴から削除、居場所を確認することができます。

❹ 履歴アイコン
To：発信履歴
From：着信履歴
✕：不在着信履歴

❺「発信」タブ
発信履歴のみ表示します。

❻ 発着信ステータスアイコン
：声の宅配便の発信
：発信者番号通知なし※
：発信者番号通知あり※
：国際電話の発着信

❼ 発信アイコン
タップして電話を発信します。

❽ 電話帳
タップして電話帳を表示します。

※ 発信時、電話番号の前に「186」／「184」を付加した場合、またはダイヤル画面で電話番号を入力して ▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」で番号通知／番号非通知を設定した場合に表示されます。

ドコモ電話帳

ドコモ電話帳には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。

■ **電話帳のクラウドサービスについて**

電話帳にてクラウドサービスをご利用になる際は、ドコモの電話帳アプリが必要です。

アプリ一覧や電話アプリからドコモの電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドにログインできます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」

- 電話帳が表示されます。



❶「連絡先」タブ

連絡先一覧画面を表示します。

❷ 連絡先一覧

画像を選択して表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成したり、インターネット上の各種サービスを利用したりすることができます。

連絡先をタップすると「プロフィール」画面が表示されます。

❸ グループ

タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します。

❹ 登録

連絡先を新規登録します。

- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してから、必要な項目を入力します。

❺「コミュニケーション」タブ

発着信、SMSの送受信、spモードメール、SNSのメッセージ※の送受信履歴が表示されます。

コミュニケーションの履歴を削除するには、☰ ▶「表示データの削除」▶「OK」をタップします。

※ クラウドを利用開始の上、「マイSNS」機能を利用している場合のみ表示されます。

❻「タイムライン」タブ

「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。

※ 表示するにはクラウドを利用開始している必要があります。

❼「マイプロフィール」タブ（P107）

❽ インデックス一覧

❾ インデックス

インデックス一覧を表示します。

❿ 検索

文字を入力して、連絡先を検索します。

自分の電話番号を表示する

ご利用の電話番号を確認したり、お客様ご自身でプロフィール情報を登録、編集、削除したりできます。また、名刺作成アプリで作成した名刺データを表示し、ネットワーク経由で交換することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「マイプロフィール」タブ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

メールアカウントを設定する

あらかじめ、ご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

2 「メールプロバイダーの選択」画面でメールプロバイダーを選択する

3 メールアカウントの設定画面でEメールアドレスとパスワードを入力する

4 「手動セットアップ」／「次へ」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

受信したメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」
2 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

メールを作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」
2 
3 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する
4 「件名」ボックスに件名を入力する
5 本文欄にメッセージを入力する
6 

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」
- Gmailの詳細については、Gmailの「受信トレイ」画面で  ▶「ヘルプ」をご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていないときや圏外時など、本端末の状態によっては、エリアメールを受信できないことがあります。
- パケット通信およびテザリング機能を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、エリアメールの本文がポップアップで表示されます。

- 画面ロックが設定されている場合、エリアメールの本文は表示されません。画面ロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。
- お買い上げ時は、マナーモードを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中でも、専用ブザー音または専用着信音が鳴ります。また、鳴らないようにも設定できます。（P111）

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「緊急速報「エリアメール」」

2 いずれかのエリアメールをタップする

お知らせ

- エリアメールを削除するには、「緊急速報「エリアメール」受信BOX」画面で削除したいエリアメールにチェックマークを付ける、または「すべて選択」▶「削除」▶「OK」をタップします。

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、着信時の動作などを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「緊急速報「エリアメール」」

2 ▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間と、マナーモードを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中の場合の動作を設定します。

受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

1 ホーム画面で「インターネット」



❶ 画面の拡大縮小

をタップするとウィンドウ表示に縮小されます。

縮小された状態で をタップすると全画面表示に拡大されます。

❷ **検索ボックス**

タップすると検索ボックスが表示されます。検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して「実行」をタップすると、ウェブページが表示されます。

❸ **ウィンドウ切り替え**

複数のウィンドウでウェブページにアクセスしている場合は、選択したウィンドウに切り替えることができます。⊗をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

お知らせ

- 画面の上にある検索ボックスやアイコンなどが表示されていない場合、ブラウザ画面を下にスクロールすると表示されます。

付録

試供品（microSD リーダライタ／ UIM オープナー）

- **試供品は無料修理保証の対象外です。**
- **試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。**
- **試供品が故障した場合、裏表紙の「試供品のお問い合わせ先」までお問い合わせください。**

■ 免責事項

次の項目に該当する場合については、LG Electronics Inc.は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- 本製品の取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損
  - LG Electronics Inc.は、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから発生した損害

microSD リーダライタ

本端末では、microSD カードを挿入して使用できないため、microSD リーダライタを利用して、本端末と microSD カードとの間でデータのやり取りを行うことができます。

- microSD リーダライタの使用方法に関する詳細は「microSD カード」（P116）をご参照ください。

■ 主な仕様

動作電圧	4.2V ～ 5.8V
外形寸法	縦：約30mm 横：約15.5mm 厚み：約6.5mm
質量	約3.4g

■ 材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
microSDリーダライタ本体	Case Lupoy SC1002FH-KPA1／Etching-SA06
microSDリーダライタ端子	PBS（C5210）／金メッキ 15u"
microSDリーダライタスロット	SHELL SUS304

UIMオープナー

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しを行うときに使用します。

- UIMオープナーの使用方法に関する詳細は「ドコモminiUIMカード」（P47）をご参照ください。

■ 主な仕様

外形寸法	縦：約17.7mm 横：約12.5mm 厚み：約0.6mm
質量	約0.5g

■ 材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
UIMオープナー本体	SUS304

microSDカード

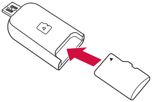
付属のmicroSDリーダライタ（試供品）を接続して、端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2013年9月現在）。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1です。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大クラス10です。

microSDカードを取り付ける

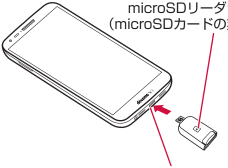
1 microSDカードをmicroSDリーダライタのスロットに奥まで差し込む

- microSDカードは金属端子面を下にして必ず止まるまで差し込んでください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。



2 microSDリーダライタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microSDカードの刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。



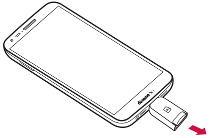
お知らせ

- 使用中、microSDリーダライタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

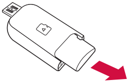
microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外す場合、必ずUSBストレージのマウント解除（安全な取り外し）を行ってから取り外してください。ホーム画面で ▶「本体設定」▶「ストレージ」から行えます。

1 microSDリーダライタを本端末から引き抜く



2 microSDカードを指先で押さえながら、microSDリーダライタのスロットから手前にすべり出すように取り出す



トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
  （ソフトウェア更新→P133）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症　状	チェック
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。→P51
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末を強制的に終了したり、再起動したりすることができます。 - 電源キーを約10秒（強制再起動中に2秒間）以上押し続けると、強制的に終了できます。 - 電源キーを約8秒以上押し続けると、強制的に再起動できます。 ※ 強制的に終了したり、再起動したりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症　状	チェック
充電ができない 通知LEDライトが点灯しない、または点滅する	・アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 ・アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 ・ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末にしっかりと接続されていますか。 ・USBハブなどをご使用の場合、定格電圧が維持されていますか。充電方法を確認してください。 → P53
充電ができない 通知LEDライトが点灯しない、または点滅する	・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDライトが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
画面に「充電してください。」と表示される	・電池残量が少ない場合は充電してください。 → P51

■ 端末操作

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリ、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

症　状	チェック
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

症　状	チェック
キーを押しても動作しない	・画面ロックを設定していませんか。→P55
ドコモminiUIMカードが認識しない	・ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P48
時計がずれる	・長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「本体設定」の「日付と時刻」で「日付と時刻の自動設定」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	・ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 - セーフモードの起動方法 1. 電源OFFの状態から電源キーを1秒以上押し続けます。

症　状	チェック
端末動作が不安定	2. docomoロゴが表示されたあと、ホーム画面が表示されるまで、音量キー（下）を押し続けます。 ※ 電源が入っている状態で電源キーを2秒以上押し続ける▶「電源を切る」をロングタッチ▶「OK」をタップしてもセーフモードを起動できます。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。

■ 通話

症　状	チェック
をタップしても発信できない	・機内モードを設定していませんか。
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを入れ直してください。 ・電波の性質により、「圏外」ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
・通信サービスなし ・ドコモminiUIMカードが挿入されていません	ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。ドコモminiUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
通信サービスなし	サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。

エラーメッセージ	説　明
PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください	PINロック解除コードを入力してください。(P97)

エラーメッセージ	説　明
・すべての保存先に十分な空きがありません。不要なファイルを削除してください。 ・端末の空き容量が低下しています。このまま使用になられると一部の機能やアプリケーションが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどを削除してストレージの空き容量を確保してください。	ファイルやアプリ、メディアコンテンツの保存、一部の機能やアプリの動作に必要な空き容量が不足しているときに表示されます。ファイルやメディアコンテンツを削除するか、アプリをアンインストールするなどしてストレージの空き容量を確保してください。

エラーメッセージ	説　明
・しばらくお待ちください（音声サービス） ・しばらくお待ちください（データサービス）	回線の混雑などにより音声／データサービスが規制されたときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。
無効な宛先です	SMSの宛先に入力されている電話番号や連絡先が無効です。受信者として使用することができない電話番号や電話帳に登録されていない連絡先が入力されています。正しい電話番号や連絡先を入力してください。

エラー メッセージ	説　明
これ以上、宛先は追加できません。	SMSでは複数の受信者を宛先に追加することはできません。メッセージの宛先は1人のみ入力してください。
これ以上文字は入力できません。	SMSの文字数制限を超えているため、これ以上文字を入力することができません。メッセージの本文を最大文字数以内にしてください。

エラー メッセージ	説　明
メッセージを送信できません。	SMSで、ネットワークの状態異常のためにメッセージを発信することができません。ネットワークの状態を確認してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作･設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間　午前9：00～
午後8：00（年中無休）
へ電話する

- 本端末からスマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「アプリ」▶「遠隔サポート」▶「このスマートフォンから発信する」▶ をタップします。

2 ホーム画面で「アプリ」▶「遠隔サポート」

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」▶「同意する」をタップする

4 ドコモからご案内する接続番号を入力する

5 接続後、遠隔サポートを開始する

端末初期化

本端末内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「バックアップとリセット」

2 「データの初期化」▶「携帯電話のリセット」▶「実行する」▶「OK」

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※1　本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※2　本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子やイヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- 本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口（レシーバー）、バイブレータ（電源キーの左側）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の本端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

L-01Fのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
LTE／3G接続またはWi-Fi接続でソフトウェア更新を行うことができます。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェア更新についての詳細は、本端末の「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「ソフトウェア更新」

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

Androidバージョンアップ

Androidバージョンアップについて

本端末のAndroidバージョンアップが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、Androidバージョンを更新する機能です。
Androidバージョンアップが必要な場合には、ステータスバーの通知アイコン（Androidバージョンアップ）やドコモのホームページにてご案内いたします。

お知らせ

- Androidバージョンアップは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

Androidバージョンアップのご利用にあたって

- バージョンアップを行うと、以前のAndroidバージョンへ戻すことはできません。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- バージョンアップ中は電源を切らないでください。

更新ファイルのダウンロード

1 ホーム画面で ≡ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「Androidバージョンアップ」

2「バージョンアップを開始する」

更新ファイルのインストール

更新ファイルのダウンロードが完了すると、本端末へインストールができるようになります。

Androidバージョンアップ実施後について

ホーム画面で「Playストア」▶ ≡ ▶「マイアプリ」などより各アプリの更新確認を行ってください。アプリに更新がある場合、アプリ更新を行わないと動作が不安定になったり、機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。

アプリの更新

LG Electronics Inc.が提供するアプリのインストール／アンインストールや、アップデート通知周期、自動アップデートなどの設定を行います。

- 最新のソフトウェアの状況については、LG Electronicsホームページをご参照ください。http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

1 ホーム画面で ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「アプリの更新」

- 「LGアプリの使用権同意」画面が表示された場合は、「エンドユーザーライセンス」と「個人情報ポリシー」を確認して「同意」をタップし、「LGアプリの使用権同意」画面で「同意」をタップしてください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種L-01Fの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は

2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.265W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本端末の「仕様」のページをご確認ください）
　http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.42W/kg, and when worn on the body is 0.41W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID ZNFL01F.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Wi-Fi Caution	This device is capable of operating in 802.11a/n mode. For 802.11a/n devices operating in the frequency range of 5.15 - 5.25 GHz, they are restricted for indoor operations to reduce any potential harmful interference for Mobile Satellite Services (MSS) in the US.

Wi-Fi Caution	WIFI Access Points that are capable of allowing your device to operate in 802.11a/n mode(5.15 - 5.25 GHz band) are optimized for indoor use only. If your WIFI network is capable of operating in this mode, please restrict your WIFI use indoors to not violate federal regulations to protect Mobile Satellite Services.

FCC Statement for the USA

This device complies with part15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.
(2) This device must accept any interference received,including interference that may cause undesired operation.

Part 15.21 statement
Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Part 15.19 statement
This device complies with part15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Part 15.105 statement
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency

energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. if this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「規制と安全に関する情報」

Declaration of Conformity

The product "L-01F" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.227 W/kg at the ear.

While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. This equipment may be operated in all European countries. The 5150 - 5350 Mhz band is restricted to indoor use only.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「おまかせロック」「spモード」「デコメール®」「エリアメール」「公共モード」「mopera」「mopera U」「おサイフケータイ」「Xi」「Xi／クロッシィ」「ケータイデータお預かりサービス」「マチキャラ」「eトリセツ」「声の宅配便」「dメニュー」「dマーケット」「iチャネル」「しゃべってコンシェル」「spモードメール」「スマートフォンあんしん遠隔サポート」「ビジネスmopera」および「Xi」ロゴ、「spモード」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「iチャネル」ロゴ、「iコンシェル」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ドコモバックアップ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Googleマップ、ハングアウト、Googleカレンダー、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Analogix、SlimPort® は、アナロジックス・セミコンダクターの商標または登録商標です。その他すべての商標および商号は、各所有者の財産です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合

- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.

オープンソースライセンス

- GPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づくソースコードを取得するには、http://www.lg.com/global/support/opensource/indexをご覧ください。
- 当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「使用条件」▶「オープンソースライセンス」をご参照ください。
- ソースコードをダウンロードすることによって、すべてのライセンス規約や免責条項、および注意事項などを取得することができます。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー ▶「お客様サポート」▶「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/ ）▶ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ バイブレートのみ、サイレント
操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

■ 公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブレート
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象:携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社･他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。
不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

■ ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600＊（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ L-01Fからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

■ 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)151(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00〜午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)113(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■LGモバイルお客様ご相談センター
0120-011-167
受付時間　午前9:00〜午後6:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●試供品については、本書内でご確認ください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.
'13.9 (2版)

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association
大豆油インキを使用しています。
再生紙を使用しています
Printed in Korea(H)

Li-ion00

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

MFL67852701